

キンモンホソガが多発しています。第1世代羽化時期に合わせて適期に防除しましょう。

現在の状況

- 1 6月前半の巡回調査における果叢葉の発生園地率は29.0%（平年10.6%）で平年より高く、発生程度中以上の園地率は6.5%（平年3.2%）で平年よりやや高かった（図1）。

防除対策

- 1 第1世代羽化時期に合わせて適期に防除する（表1）。ネオニコチノイド剤は羽化始期～羽化前期、IGR剤は羽化始期～羽化盛期に使用すると効果が高い。羽化始期は羽化盛期の5日前、羽化前期は羽化盛期の5日後が目安である。

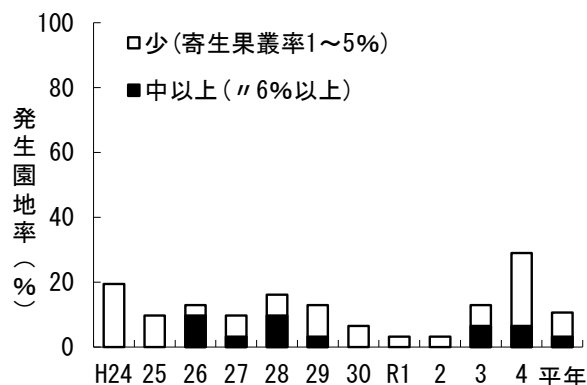


図1 キンモンホソガの発生園地率の年次推移 (6月前半、果叢葉)



図2 キンモンホソガの被害葉

表1 アメダスデータによるキンモンホソガ第1世代羽化盛期の予測(6月7日現在)

地点名(標高)	羽化盛期
盛岡 (155m)	6月第3半旬
北上 (61m)	6月第2半旬

※ 羽化盛期は、当年の越冬世代成虫のフェロモントラップへの誘殺盛期(北上は4月第5半旬、盛岡は4月第5半旬)を起点とし算出(平成22年防除技術情報)

※ 6月6日まではアメダス現況値を、6月7日以降は平年値を利用し、平年並に推移した場合を示した

※ 観測地点の標高より100m増すごとに羽化盛期は3~4日遅れるので注意する

【利用上の注意】

本資料は、令和4年6月1日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

- ・ 農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・ 農薬使用の際は（1）使用基準の遵守（2）飛散防止（3）防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/index.html>

